

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 令和3年度 第1回太陽光分科会

政府のカーボンニュートラル宣言を受けて、7月に公開された第6次エネルギー基本計画（素案）で2030年の再生エネ比率が36～38%と大幅に引き上げられました。ここで、最も期待されているのが太陽光発電です。このため、太陽光については従来の事業モデルに加え、新しい発想に基づく事業創出が求められているほか、環境省では地域共生型の再生エネ導入拡大促進のための新たな法整備、農水省では荒廃農地等へのPV導入拡大に向けた規制の見直しなど、あらゆる手法の導入が検討されています。このように、従来の産業と再生エネ、とりわけ太陽光との融合で新しい価値を生み出す時代が到来しています。

今回はこのように大きな変革が訪れようとしている太陽光発電ビジネスについて、農地の再生エネポテンシャル、営農型、そしてスマート農業など、今注目のトピックについて各専門家の方々に最新の動向を中心に講演いただきます。

新しい農業と融合した太陽光ビジネスへ挑戦されようとしている企業を始め、農業関係者、自治体関係者など多くの方々のご参加をお待ちしています。

日 時： 令和3年9月9日（木）13:00～16:30

場 所： Web開催（Zoom使用）

※申込書にご記入いただいたメールアドレスに参加登録の案内メールをお送りします。

次 第：

13:05-13:10 開会挨拶

再生可能エネルギー関連産業推進研究会 太陽光分科会長

（産総研 FREA 再生可能エネルギー研究センター太陽光システムチーム 研究チーム長 大関 崇 ）

13:10-13:45 脱炭素社会に向けた地域の再生エネ導入の取組について

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐（総括） 岸 雅明 氏

13:45-14:20 農水省における農山漁村再生エネ政策

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス課 再生可能エネルギー室 課長補佐 江頭 知穂 氏

14:20-14:55 地上設置型太陽光発電の導入ポテンシャル評価

一般財団法人日本エネルギー経済研究所 計量分析ユニット 研究員 尾羽 秀晃 氏

14:55-15:05 休憩

15:05-15:40 営農型太陽光発電の最新動向

千葉工コ・エネルギー株式会社 代表取締役 馬上 丈司 氏

15:40-16:15 スマート農業の最新動向

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門

無人化農作業研究領域 小型電動ロボット技術グループ 主任研究員 臼井 善彦 氏

16:15-16:25 全体質疑

再生可能エネルギー関連産業推進研究会 太陽光分科会長

16:25-16:30 閉会挨拶

参加費無料

Web定員100名

※先着順、定員になり次第受付終了

締切：令和3年9月6日（月）

◆ お申込み方法 ◆

当研究会へご入会の上、「参加申込書」に必要事項を記入し、申込締切日までにメールにてお申し込みください。

◆ お申込み・お問い合わせ ◆

〒963-0215 福島県郡山市待池台1丁目12番地（福島県ハイテクプラザ内）

公益財団法人福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま

電話：024-963-0121 FAX:024-963-0122

e-mail: e.a.fukushima@f-open.or.jp

